

# 森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

## －梅雨の六甲山－

Vol.5



### 梅雨の六甲山で見られる花

梅雨に見られる六甲山の花と聞いてアジサイを連想する人も多いと思います。ピンクや青、紫等、色とりどりの花（正確には装飾花で、花ではありませんが）を見ることができます。他にも花は咲いていますが、春先のように大きく目だった花は少なく、白く小さな花をつける木が多くなります。



その一つにウツギがあります。漢字では「空木」と書き、茎が空洞になっています。地面から複数の幹が出ている（株立ち）落葉低木で、樹形はきれいではありません。藪のように見えることもあり、伐採してしまいたくなる人もいるようですが、花の甘い香りに鳥や虫が訪れます。六甲山全域に生育しているので、みなさんの活動地にもあるかも。



花は白色で一面に花がつくので目立ちます



枝の中は空洞です

ガマズミも白い花をつけます。秋に真っ赤な実をつけ、鳥の餌になります。ガマズミを植樹している団体もあります。生長を確認してみたいかたがでしょうか。



立ち上がった先に白い花



秋になると実が色づきます

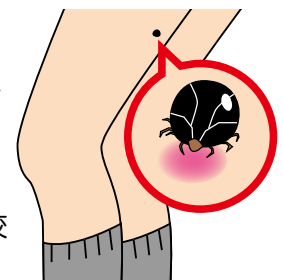
※六甲山系電子植生図鑑では六甲山の木を詳しく紹介しています。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/rokko/vegetation/index.html>



### 気をつけましょうマダニ

これからの時期（6～8月）はマダニの活動が活発になります。マダニはネザサに多く、通りがかった人間の臭いに反応し、足首から入り、皮膚の柔らかい部分に移動して咬みます。咬まれても痛みはないので、帰ってお風呂に入ったときに、ちいさなホクロ？を見つけたり、湿疹が生じて咬まれた（吸血）ことに気がつく場合が多いです。



（予防や対策は裏面下へつづく）

## 団体紹介(2)六甲ジョウビタキの会

平成 20 年 10 月に活動を開始し、これまでに 39 回の活動を行うなど（平成 24 年 4 月 1 日現在）、年間 10 回前後のペースで精力的に森づくり活動をおこなっている団体です。また、六甲山だけにとどまらず、地域でも森づくりにからんだイベントを行っています。代表の斉藤さんにお話しをうかがいました。

——団体名の由来を教えてください

ジョウビタキは冬に六甲山を訪れるひとなつこい渡り鳥です。森の恵みが豊かで野鳥の多い、いわゆる生物多様性の高い森にしたいとの思いからこの名前を名づけました。



——どのようなメンバーと活動をされていますか

職場仲間と活動を始めましたが、インターネットのほか、人の縁など、森づくり活動に共感したメンバーが集まり、今では多様なメンバーで活動しています。植樹やその後の草刈りにはボーイスカウトの子供たちも参加してくれています。

——森づくり活動を始めていかがですか？

空気はおいしく、運動になることから、とても健康にいい活動だと実感しています。また、山の自然への関心が高まり、旅先の山でも、どのような植物が生え、生きものがいるのかが気になるようになりました。

——どのような森にしたいですか？

広葉樹を中心とした生物の多い森にしたいですね。

——活動で気を付けていることはなんですか？

とにかく安全第一で活動しています。事故が起きるとそれまでの活動がゼロになるどころか、周りの方にも大きな迷惑をかけてしまいますからね。あと、木を伐採するとき周りの木を傷つけないように倒すように心がけるなど、森づくり活動によって自然が傷つくことはできるだけ避けています。

——イベントを行っているとのことですが？

春と秋の年 2 回、地元の公園で、伐採木を活用したコースター等の無料配布や、グリーンベルト整備事業のパネル展示のイベントを開催しています。親子を中心に 300~400 人の参加があり、子供たちが少しでも自然に関心を持つようになればいいと思います。



### 気をつけましょうマダニ(対策編)

(予防)

- ・スパッツや長靴を着用し、ズボンの裾を靴下の中に入れ込みます。
- ・防虫剤をズボンの裾にスプレーします。

(それでも咬まれた場合には)

- ・無理に引きちぎらず（ダニの頭が体の中に残ります）、皮膚科で取り除いてもらいましょう。噛んですぐならば火のついた線香の先をつけることで取れることもあります。
- ・マダニは「日本紅斑熱」を引き起こす媒介菌を持っている場合もあるので、風邪のような症状を覚えた場合などは、診察をうけましょう。



本ニュースレターに関する問合せ先：

森の世話人活動支援事務局（株式会社総合環境計画内） 担当：赤井・井上  
TEL：06-4390-5104 E-mail：rokko\_gb@lion.ocn.ne.jp